

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、構築物、機械及び装置、車両運搬具、器具及び備品並びにソフトウェア一定額法
 - ・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金－三重県社会福祉事業職員共済会の掛け金と同額の引当金を計上
 - ・賞与引当金－平成26年12月から平成27年3月までの4か月分を計上

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

- (1) 独立行政法人福祉医療機構退職手当共済
- (2) 三重県社会福祉事業職員共済会

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）
- (2) 事業区分別内訳表（第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式）
当法人では、事業区分が一つのため作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア 本部拠点（社会福祉事業）
 - イ 鈴鹿和順学園拠点（社会福祉事業）
「障害者支援施設鈴鹿和順学園」
「短期入所事業鈴鹿和順学園」
「日中一時事業鈴鹿和順学園」
「相談支援事業鈴鹿和順学園」
「放課後等デイサービスセンターわか」
 - ウ 和順寮拠点（社会福祉事業）
「障害者支援施設和順寮」
「短期入所事業和順寮」
 - エ 和順みずしの寮拠点（社会福祉事業・公益事業）
「共同生活援助和順みずしの寮」
「第1号職場適応援助者事業」
 - オ 和順木田デイサービスセンター拠点（社会福祉事業）
「生活介護事業和来」
「日中一時事業和来」
 - カ 障害者総合相談支援センターあい拠点（社会福祉事業・公益事業）
「障害者療育等相談支援事業」
「障害者生活支援事業」
「障害者就業・生活支援センター事業」

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	12,327,572	23,496,502	0	35,824,074
建物	363,565,700	50,040,150	13,901,221	399,704,629
建物付属設備	45,542,897	18,684,748	6,631,644	57,596,001
合計	421,436,169	92,221,400	20,532,865	493,124,704

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

減価償却に伴い国庫補助金等特別積立金18,154,003円を取り崩した。

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

人件費積立資産、施設整備積立資産、定期預金	105,000,000 円
計	105,000,000 円

担保している債務の種類及び金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	59,637,000 円
計	59,637,000 円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	623,807,508	224,102,879	399,704,629
建物付属設備（基本財産）	374,096,851	316,500,850	57,596,001
建物	1,473,275	1,411,438	61,837
建物付属設備	761,250	410,861	350,389
構築物	33,336,829	21,442,562	11,894,267
機械及び装置	10,590,448	10,568,395	22,053
車両運搬具	28,703,450	26,493,710	2,209,740
器具及び備品	46,965,918	28,472,000	18,493,918
無形固定資産	4,179,000	3,893,400	285,600
合計	1,123,914,529	633,296,095	490,618,434

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし